

| | | | | |
|----------|--|--|---|---|
| 資料番号 | 2514-01-001-05 | 2514-01-001-06 | 2514-01-003-11 | 2514-01-005-01 |
| 調査年月 | 2004/9/14 | 2004/9/14 | 2004/9/14 | 2004/9/14 |
| 調査者 | 切畠 健 | 切畠 健 | 切畠 健 | 切畠 健 |
| 系 | 名称 | 婦人用毛織絹織縮物衣服地 第拾七類B 五冊之内其一 | 婦人用毛織絹織縮物衣服地 第拾七類B 五冊之内其一 | 婦人用毛織絹織縮物衣服地 第拾七類B 五冊之内其一 |
| | 素材 | 毛・絹 | 毛・絹 | 毛 |
| | タテ | 毛甘撚りS 絹Z撚 | 絹2本S撚 | 毛 S撚 |
| 色 | ヌキ | 毛甘撚りS | 毛 部分的に強撚太 細はなはだし | 毛 S撚 |
| | 地色 | 全体に淡緑をしめし、カスリ文 様風に白・黒撚糸文様が入る | 全体に濃紺、タテ糸 の2色撚り合わせが 細縮となりカスリ風 の面白さを見せる | 黄緑 |
| | 染顔 料 | | | |
| | タテ | 毛-淡緑 絹-白・黒 | 白・黒S撚 | 緑 |
| 加工 技法 | ヌキ | 毛-淡緑 | 濃紺 | 緑 |
| | 織 技 法 | 平組織が中心となり白黒撚糸の 経が変化を付けている | 平組織 | 三枚綾 |
| | 染技 法 | | | |
| | その他 | | | 2/2綾 |
| 文様 | 文様 | 小円並べ | 太い緯が浮紋のよう な効果を見せる。カ スミ風とでも言うか 遠山文様とでもいう | 無文様 無地 |
| | 形状 | 長方形 | 長方形 | 不整形 |
| 用途 | 婦人用服地 | 婦人服地 | 婦人用服地 | 婦人服地 |
| 特記事項 | 小円並べと見たのであるが、文 様を言うのは難しい。白・黒撚糸 でカスリ風の効果が興味深い。 その小円は横並べで段文様と なっている。小円(3×4mm)で間 隔は中心から中心に5mm。白 黒経て糸は4本一単位で4本が 平織りで並ぶところと、2本づつ2 段に分かれてあたかも文羅のよ うに(ただし捩れることはなし) 見えるところから小間隙のある のが特色である。 | タテに20入りおさ目 があるように2本組 になっている白・黒S 撚り糸を並べた絢風 の面白さがあり緯の 太細が浮き紋の様 な効果が見所とな る。またグリグリした 強撚緯糸が10枚越 毎に見受けられる | 貼紙J.CLAUDE FRERES & °C-PARIS (NUANCES POUR la prochaine Saison. 絹、緯ともに強撚糸を用いているので独 特の風合いが特色となる。比較的薄手 で軽やかな風合いをしめしていたもの であろう。 | 貼紙J.CLAUDE FRERES & °C- PARIS Les Vigoureux 起毛されて柔らかな 風合いが特色的 物。やはり強撚糸に よって軽くしかもサラ リとした風趣が魅力 となる。PARISとある のが産地をうかが わせ注目される |
| 調査所見 | 小片ながら興味ある裂地で、お そらく極めて軽やかなものであ ろう。その面白さを見過ごしがち な裂である | 何でもないように見 えつつ感触に面白さ があり、着衣としても よい風合いのもので あつたと思える。 | 組織は異なるが所謂モスリンのよう な風合い。 | |
| 製作地 | | | | |
| 製作年 | | | | |
| 織名称 | | | | |
| 法 量 | 縦 | 57 | 61 | 42 |
| | 横 | 73 | 78 | 77(フチとも) |
| | 織耳 | | | |
| 備考 | | | 同種色変り1ミドリ、2ムラサキ、3ウスア カ、4青ネズミ、5ウス茶、6ダイダイ、7コ ン、8焦茶、9ネズミ、10コイアカ、11キミ ドリ)の11裂が張り込まれているが、中 に2つ入りの簇目のあるように見えるも のがある。 | 現今いうダイアナ格 子のようである。 |

| | | | | | |
|------|--|--|---|---------------------------|---|
| 資料番号 | 2514-01-007-07 | 2514-04-003-01 | 2514-04-003-04 | 2514-03-001-04 | 2514-03-004-07 |
| 調査年月 | 2004/9/14 | 2004/10/12 | 2004/10/12 | 2004/10/12 | 2004/10/12 |
| 調査者 | 切畠 健 | 川口 浩 | 川口 浩 | 生谷 吉男 | 生谷 吉男 |
| 名称 | 婦人用毛織絹織縮物衣服地 第拾七類B五冊之内其一 | 毛服地 | 毛服地 | 婦人用毛織絹縞物衣服地 | 婦人用毛織絹縞物衣服地 |
| 糸 | 素材 毛 | 毛 | 毛 | | レーヨン経糸 |
| | タテ 強撚S | 紡毛糸 | 紡毛糸 | レーヨン | レーヨン |
| | ヌキ 強撚Z | 紡毛糸 | 紡毛糸 | 木綿 | 木綿 |
| 色 | 地色 茶ネズミ | ①白②ベージュ+黒杏糸③紺④黒 | ①グレー②黒褐色③オレンジ④グリーン | ベージュ、黒線、淡ベージュ、赤線、白 | 5色の縞がよろけに表現 |
| | 染顔料 | | | | 焦げ茶(両サイド)、グリーン、青、白 |
| | タテ 茶ネズミ | タテ、ヨコ共に同じ | タテ、ヨコ共に同じ | | 地色 白、他に5色 |
| | ヌキ 茶ネズミ | タテ、ヨコ共に同じ | タテ、ヨコ共に同じ | 白 | 白 |
| 加工技法 | 織技法 基本的には平組織ながら部分的に規則的に浮ヌキとしている。浮きヌキは諸撚糸図2のようにタテ5本は浮きヌキ。タテ3本は沈んでいる。 | 変化畝組織による製織 | 平織二重組織 | リボン織機にて太い緯糸を織り込んで畝状になっている | 経糸に5色の縞を整経し21越の繰り返しでジャガードによりよろけ模様にしている。緯糸は太い綿糸の諸糸を2杼準備し、一開口時に左右より杼を飛ばし2本の糸で太くして太い畝を作っている。 |
| | 染技法 | 紡毛糸先染糸(各色とも) | 紡毛糸先染糸(各色とも) | | |
| | その他 | | | | |
| 文様 | 繁段模様 ほぼ5mm間隔 | チェック柄 | 格子縞 | 縞 | 縞 |
| 形状 | 長方形 | | | リボン | リボン |
| 用途 | 婦人服地 | 毛服地 | 毛服地 | 飾り用 | 飾り用 |
| 特記事項 | 同色同質のタテ・ヌキんがらS・Zの撚り分けが注目される。一見すると地味で見所の少ない列のように見えるが、しかし平易な技法ながら特色のある服地となつたであろう | 紡毛糸使用による色糸使いで単純な格子縞というよりもむしろ変化に富んだ格子縞の織物。例を見ない格子縞として興味深い | 地組織のタテ・ヨコともの糸はカールヤーンを使用し表地のオレンジとグリーンを格子縞となるよう配列する。なおオレンジおよびグリーンの糸は引揃え糸を配す | | 写真の左右の黒色は貼付テープ |
| 調査所見 | 軽やかな風合いが特色である感触は良好であったと思える | | | | |
| 製作地 | | | | | |
| 製作年 | | | | | |
| 織名称 | | | | | |
| 法量 | 縦 60 | | | | |
| | 横 7.9(フチトモ) | | | | |
| | 織耳 | | | | |
| 備考 | | | | | |

| 資料番号 | 2514-03-005-06 | 2514-03-020-07 | 2514-03-023-08 | 2514-04-003-1 |
|------|---|--|-------------------------------|--|
| 調査年月 | 2004/10/12 | 2004/10/12 | 2004/10/12 | 2004/10/12 |
| 調査者 | 生谷 吉男 | 生谷 吉男 | 生谷 吉男 | 川口 浩 |
| 名称 | 婦人用毛織絹縞物衣服地 | 婦人用毛織絹縞物衣服地 | 婦人用毛織絹縞物衣服地 | 毛服地 |
| 糸 | 素材 レーヨン 又は アセテート | | 絹 | 毛 |
| | タテ ダルとブライト | 羊毛 甘い諸撚り | 絹 | 紡毛糸 |
| | 又キ ダル | 羊毛 | 絹 | 紡毛糸 |
| 色 | 地色 経糸 収縮しているのはダル糸で黄色、他はブライト糸 | | 焦げ茶の浸染白赤の縫い取りあり模様がある | ①白②ベージュ+黒 杖糸③紺④黒 |
| | 染顔料 | | | |
| | タテ 黄、赤、焦茶 | 白 | 白 | タテ・ヨコともに同じ |
| | 又キ 黄色 | 白糸と緑糸を交互 | | タテ・ヨコともに同じ |
| 加工技法 | 織技法 平織りで地の黄色が収縮してブライト糸の赤と焦げ茶が盛り上がりサッカーとなっている。経糸の収縮差が大きい | 白色の経糸を紹機に掛け緯糸に白と緑を交互に入れて紹組織に織る。紹部分の緯糸はあまよりで諸糸としてある。緯糸は1, 3, 1, | 二重組織で下は平織り、上に細かい亀甲模様が浮き出ている。, | 変化畝組織による製織 |
| | 染技法 経糸の配置 地糸24本 焦茶15本 地糸12本 赤糸15本 地糸12本 白15本 | 3本紹となっている。緯糸が甘撚りのために表面に毛羽が立ち、ボリューム感が出ている | 先染め | 紡毛糸先染糸(各色とも) |
| | その他 | | | |
| 文様 | 縞 ダルは経緯共に黄色で赤と焦げ茶の縞 | 白と緑の霜降り | 細かい亀甲模様 | チェック柄 |
| 形状 | リボン | 裂地 | リボン | |
| 用途 | | チュワール | 飾り用 | 毛服地 |
| 特記事項 | | | | 紡毛糸使用による色糸使いで、単純な格子縞というよりもむしろ、変化に富んだ格子縞の織物。例をみない色柄として興味深い。 |
| 調査所見 | サッカーの加工法 経糸の地の部分の収縮加工方法は不明 | | | |
| 製作地 | | | | |
| 製作年 | | | | |
| 織名称 | | | | |
| 法量 | 縦 | | | |
| | 横 | | | |
| | 織耳 | | | |
| 備考 | | | | |

| | |
|------|--|
| 資料番号 | 2514-04-003-04 |
| 調査年月 | 2004/10/12 |
| 調査者 | 川口 浩 |
| 名称 | 毛服地 |
| 糸 | 素材 毛 |
| | タテ 紡毛糸 |
| | ヌキ 紡毛糸 |
| 色 | 地色 ①グレー②黒褐色③オレンジ④グリーン |
| | 染顔料 |
| | タテ タテ、ヨコ共に同じ |
| | ヌキ タテ、ヨコ共に同じ |
| 加工技法 | 織技法 平織二重組織 |
| | 染技法 紡毛糸先染糸(各色とも) |
| | その他 |
| 文様 | 格子縞 |
| | |
| 形状 | |
| 用途 | 毛服地 |
| 特記事項 | 地組織のタテ・ヨコとの糸はカールヤーンを使用し表地のオレンジとグリーンを格子縞となるよう配列する。なおオレンジおよびグリーンの糸は引揃え糸を配す |
| 調査所見 | |
| 製作地 | |
| 製作年 | |
| 織名称 | |
| 法量 | 縦 |
| | 横 |
| | 織耳 |
| 備考 | |